

## 「雇用促進・就労定着プロジェクト」研修報告

去る、1月16日(木)、とかちプラザにおいて「仕事の魅力発見フェス」を行いました。このイベントは、障がいのある求職者に対し企業が仕事体験や職種説明を行う、当センターとしても初の取り組みです。当日は、160名を超える求職者・支援者・企業の方・関係者が集まり、障がい者雇用に対する関心の高さを感じる会となりました。



仕事の魅力発見フェス開催に至った経緯は、9月に行った「就労系障がい福祉サービス事業所見学」から始まります。事業所を利用している方との触れ合いを通し、仕事に対するイメージの広がりや、就職に対する不安感を感じ、企業が求職者に向けて働きかけられることはないかを考え企画した内容です。

当日は、6社の仕事の紹介を、障がいのある方が担当者と一緒に説明しました。

企業概要を説明いただいた後、具体的な仕事の内容ややりがい、その職種に必要な力を伺いました。

制服で登場したり、普段使っている道具を持って登壇されたりと、仕事のイメージが持ちやすいよう、各社アイデアを凝らした職種紹介でした。



<給食盛り付け準備>

積極的に体験に参加されている様子から、仕事への意欲を感じることもできました。また、参加申し込みの時点で、就労系障がい福祉サービス事業所の方からは、日常の作業活動が

イベントの後半は、6社が出店した仕事の体験会です。実際に仕事で使われている道具を使用し、商品の消費期限切れ探し、野菜の計量、ごみの分別、部品の組み立て、給食盛り付けの準備、リネン管理の体験をしました。各ブース10回の体験を予定していましたが、希望者が多く、延べ200名の方に体験していただきました。



<ゴミ分別>



<商品の消費期限探し・品出し>

あるため参加することが難しいとの声もお聞きしており、日中活動や事業所運営のための仕事の担保と、個別の就労支援のバランスの難しさを感じる機会となりました。事業所によっては、就労に向けた各種プログラムを行う機会をなかなか持てない状況もお聞きしていることから、当センターで行う当事者対象の各種研修はもちろんのこと、支援者向け研修や市町村が行う自立支援協議会などを有効活用いただき、事業所内の取り組みに活かしていただければ幸いです。当センターとしても、できるだけ多くの方々にご参加いただける

ような企画を考えていきますので、ぜひご意見をいただければと思います。



<企業相談ブースの様子>

雇用のまたがない見学や体験の取り組みは、企業にとっては時間と労力のかかることですが、モチベーションを高め、ゆくゆくは就職へとつながるための取り組みだと感じています。何よりもプロジェクトメンバーの方々からも、少しでも多くの方に企業で働くことの魅力について伝えていきたいと前向きな意見をいただいております。当センターとしては、企業と福祉が連携を取りながら障がいをお持ちの方が就職をかなえられる地域づくりができるよう、今後も様々な取り組みを行っていきます。皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

仕事の魅力発見フェスを行い、沢山の方が就職を希望している状況を改めて確認することができました。また、就職を希望していながらも、一歩が踏み出せない方が多いことも感じ、就職に結びつくためには何が必要なのかを考えさせられる時間でもありました。

今後は、ご本人がより就職についてのイメージを持ちやすいように、気軽に見学や体験ができる機会も必要だと感じ



<雇用促進・就労定着プロジェクトの皆さん>